

吉田正生教授 略歴・主要業績

【略歴・職歴等】

- 1972年 3月 東京都立大学法学部法律学科 卒業
1974年 3月 東京都立大学大学院社会科学研究科政治学専攻修士課程 修了
1983年 3月 兵庫教育大学大学院教科・領域専攻社会系コース 修了
1975年 4月 千葉県流山市立鱒ヶ崎小学校 助教諭
1977年 4月 千葉県流山市立新川小学校 助教諭；教諭
1983年 4月 千葉県流山市立東深井小学校 教諭
1986年 4月 千葉県野田市立二つ塚小学校 教諭
1990年 4月 千葉県野田市教育委員会 指導主事
1993年 4月 北海道教育大学旭川校 助教授
2004年 4月 北海道教育大学旭川校 教授
2010年 4月 文教大学教育学部 教授（2019年度4月より特任教授として現在に至る）



【大学に於ける専門領域】

社会科教育 社会科教育特論

【学会及び社会的な活動】

- 1981年 4月 全国社会科教育学会（2008年～2010年まで、理事）
1990年 4月 社会系教科教育学会（2005年より、理事、現在に至る）
1993年 4月 日本教育社会学会
1994年 4月 日本カリキュラム学会
1998年 4月 北海道教育大学旭川実践教育学会（2018年度より、「日本学校教育実践学会」と改称；2019年度より会長）
2016年 4月 和文化教育学会

【主要業績】

編著書

- 1987年 『楽しい社会科の授業構成』三晃書房；「わが国の工業地域—日本の工業の仕組みと働く人たち—」を担当。
1991年 『小学校社会科の授業設計』東京書籍；「価値分析を組み込んだ授業」を担当。
1991年 『現代社会科教育実践講座（第16巻）』ニチブン；「しらさぎ川と私たちの町」を担当。
1995年 『社会系教科教育の理論と実践』清水書院；「小学校社会科教科書にみられる『男女差別学習』」を担当。
1995年 『社会科授業の理論と展開』現代教育社；「小学校社会科の授業づくり：中学年」を担当。
1995年 『子どもとコミュニケーション』東京書籍；「社会科授業改善のための枠組みとその活用例」を担当。
1996年 『子どもとカタチ』東京書籍；「社会科歴史のかたちを探る」を担当。
1996年 『歴史教育の理論と実践』現代教育社；「先人の働きや苦心」を担当。
1997年 『子どもの学びとつまずき』東京書籍；「歴史教育における絵画資料とつまずき」を担当。
1998年 『社会科授業の解析と再構築』（編著）東京書籍。

- 1999年 『子どもと地域』 東京書籍；「地域社会に生きる実践人の育成をめざした社会科授業とその授業構成原理」を担当。
- 2000年 『子どもと「総合的な学習の時間」』 東京書籍；「『総合的な学習』づくりのための諸方略について」を担当。
- 2002年 『CD-ROM版 中学校社会科教育実践講座』 ニチブン；「教材・教具，情報と資料」を担当。
- 2002年 『社会科教育へのアプローチ』 現代教育社；「社会科の学習指導案の諸形態」を担当。
- 2008年 『社会認識教育実践学の構築』 東京書籍；「第4章－2 論理整合的・価値整合的意思決定授業モデルとその実践」を担当。
- 2010年 『社会系教科教育研究のアプローチ』 学事出版；「国際理解に関する授業開発：第6学年『シンガポールと私たち』」を担当。
- 2011年 *Citizenship Education in Japan*, Continuum International Publishing Group ; Part One-3 The Birth of the Dominant Teaching Paradigm for Social Studies in Japanese Elementary Schools (pp.29-52).
- 2012年 『社会科教授用図書におけるアイヌ民族関係記述の生成と展開』 風間書房。
- 2014年 『Let's do 社会科：その現在と未来』 文教大学出版事業部。
- 2019年 『社会系教科教育学研究のブレイクスルー』 風間書房；「第3章5節『社会参画学習論』に拠る歴史授業の革新」を担当。

論文

- 1986年 「論理整合的・価値整合的意思決定能力育成のための社会科授業モデルとその実践」；全国社会科教育学会『社会科研究』34号，pp.49-59.
- 1990年 「小学校社会科教科書に見られる『説得技法』の研究—「政治学習」の記述を手がかりに一」；全国社会科教育学会『社会科研究』38号，pp.42-52.
- 1992年 「初期社会科に見られる『説得技法』の研究—江口武正『村の五年生』を事例として—」；社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』4号，pp.55-60.
- 1996年 「社会科地理の探究（試論）」；北海道教育大学函館校『教育情報科学』24号，pp.15-26.
- 1997年 「成立期社会科の一断面（その1）」；北海道教育大学『北海道教育大学研究紀要（教育科学編）』47巻2号，pp.237-249.
- 1997年 「道内社会科副読本における知の布置状況—アイヌ民族関係記述の場合—」；北海道教育大学僻地教育研究施設『環太平洋へき地の諸相（Ⅲ）—地域の教材化とマルチメディアによるへき地教育の革新—』，pp.79-106.
- 1997年 「アイヌ民族関係記述より見た北海道内の社会科副読本について」；東京都立大学法学部『東京都立大学法学会雑誌』38巻1号，pp.313-344.
- 1997年 「道内社会科副読本におけるアイヌ民族関係記述について」；社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』9号，pp.79-86.
- 1998年 「タウン北海における新社会科副読本の生成過程」；日本教育社会学学会『教育社会学研究』63集，pp.220-234.
- 1999年 「道内社会科副読本（平成9年）における知の分布」；日本社会科教育学会『社会科教育研究』82号，pp.1-12.
- 2000年 「メディア・リテラシー論による『情報産業学習』の転換—社会科と総合的な学習の融合単位を通して—」；全国社会科教育学会『社会科研究』51号，pp.21-30.
- 2000年 「中学年社会科『まちづくり学習』の教科書記述について」；社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』

- 13号, pp.51-60.
- 2002年 「『共感的理解志向の社会科』授業の誕生」；北海道教育大学『北海道教育大学紀要（教育科学編）』52巻2号, pp.67-83.
- 2002年 「二分法を越えて」；日本教育大学協会第二常置委員会『教科教育学研究』20集, pp.3-23.
- 2002年 「『ふるさと学習』の可能性」；北海道教育大学僻地教育研究施設『へき地教育研究紀要』57巻, pp.35-50.
- 2003年 「新しい『人物学習』の構想—制度・しくみを構想する力を育成するために—」；全国社会科教育学会『社会科学研究』58号, pp.1-10.
- 2003年 「中学校社会科教科書（歴史的分野）におけるアイヌ民族記述の変遷」；中央教育研究所『中研紀要 教科書フォーラム』1号, pp.2-11.
- 2004年 「教科カリキュラム学の提唱」；北海道教育大学教科教育学会『教科教育学の今日的視座』, pp.79-120.
- 2005年 「教科教育と教科専門—それぞれの発展方向—」；日本教育大学協会第二常置委員会『教科教育学研究』23集, pp.3-15.
- 2007年 「中学校社会科歴史教科書におけるアイヌ民族記述（近世史）の誕生」；社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』19号, pp.1-8.
- 2010年 「『対話』力の育成をめざした歴史授業の構成—中学校社会科歴史教科書にみられるアイヌ記述を教材にして」；学位請求論文（学校教育学博士）；兵庫教育大学に提出.
- 2010年 「ナショナル・エデュケーション下のシンガポール初等教育（その1）」；文教大学『教育学部紀要』44号, pp.101-112.
- 2011年 「社会科メディア・スタディズのための中学校社会科歴史授業の開発—明治政府のメディア対策—」；社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』23号, pp.1-10.
- 2013年 「小学校社会科『社会参画学習』の授業プラン—ボランティアグループ『なずなの会』を教材として」；社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』25号, pp.1-10.
- 2014年 「『社会科伝統・文化学習』の転回と構築（その1）」；文教大学『教育学部紀要』48号, pp.5-20.
- 2015年 「『社会科伝統・文化学習』の転回と構築（その2）」；文教大学『教育学部紀要』49号, pp.79-102.
- 2015年 「小学校社会科における価値教育ストラテジーについて」；文教大学教育研究所『教育研究所紀要』24号, pp.17-28.
- 2017年 「中学校社会科歴史教科書における『日本画』関係記述の改変—『国民国家』観の拡大と『伝統・文化の担い手』育成をめざして」；文教大学『教育学部紀要』51号, pp.25-44.
- 2017年 「主権者教育としての社会科カリキュラムと授業構成—『社会参画学習論』を土台に据えて」；社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』29号, pp.1-10.
- 2018年 「授業書『明治政府の国づくり・国民づくり』の開発」；全国社会科教育学会『社会科学研究』88号, pp.1-12.
- 2018年 「学習指導案についての学生の知見を深めるための試み—『教職実践演習』の講義を通して」；日本学校教育実践学会『学校教育実践ジャーナル』1号, pp.31-38.

その他

- 1992年 「未来予測を入れた『国際理解学習』の構想」；『教育科学 社会科教育』（明治図書）367号, pp.66-68.
- 1993年 「社会科らしい授業の終わり方・まとめ方はときかいたら—自ら視点の拡大・深化をなせるものを—」；『教育科学 社会科教育』（明治図書）384号, p.11.
- 2000年 「カルガリー大学の新しい教員養成プログラムについて」；北海道教育大学旭川校FD推進委員会『FD：ファ

- カルティ・ディベロップメント』(平成11年度報告書), pp.134-154.
- 2000年 「社会科歴史における基礎・基本」; 広島大学附属小学校学校教育研究会『学校教育』995号, pp.12-17.
- 2001年 「講義についての学生の声」; 北海道教育大学旭川校FD推進委員会『FD:ファカルティ・ディベロップメント』(平成12年度報告書), pp.103-124.
- 2001年 「社会科論こそ磨くべきもの」; 『教育科学 社会科教育』(明治図書) 507号, p.11.
- 2002年 「モスクで七・五・三しくみ・思い・自分に迫る学習を—」; 『教育科学 社会科教育』(明治図書) 511号, pp.18-19.
- 2002年 『『教育実践の参加・体験』奮闘記』; 北海道教育大学旭川校FD推進委員会『FD:ファカルティ・ディベロップメント』(平成13年度報告書), pp.53-66.
- 2002年 「地域教材の扱い—もの, ネタ, 子どもをあてにすな—」; 『教育科学 社会科教育』(明治図書) 518号, pp.48-49.
- 2003年 「日本の産業競争力」; 『教育科学 社会科教育』(明治図書) 523号, pp.84-85.
- 2003年 「わが県の情報:ここに『この授業あり』(北海道の巻)」; 『教育科学 社会科教育』(明治図書) 528号, pp.134-135.
- 2006年 「あえて旭山動物園ではなく, 公共性を育成する身近な場所を推す」; 『教育科学 社会科教育』(明治図書) 566号, p.11.
- 2007年 「メディア教育とシチズンシップ」; 『社会科公民教育における英国シチズンシップ教育の批判的摂取に関する研究』; 平成18~19年度科学研究費補助金基盤研究(C)(1)研究成果報告書(水山光春代表), pp.21-50.
- 2008年 『中学校社会科教科書に現れたアイヌ民族関係記述について』; 平成18~19年度科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書.
- 2008年 「変革の時代の社会科教師教育実践の創造」; 社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』20号, pp.255-264.
- 2009年 「LEAとシチズンシップ教育—ケント・カウンティのカリキュラム・アドバイザーの事例を通して—」; 『社会科公民教育における英国シチズンシップ教育の批判的摂取に関する研究』; 平成17~20年度科学研究費補助金基盤研究(A)研究成果報告書(池野範男代表), pp.28-42.
- 2011年 『『負荷なき自己』対『埋め込まれた自己』』; 『教育科学 社会科教育』(明治図書) 629号, p.9.
- 2013年 「情報化社会の問題」; 『教育科学 社会科教育』(明治図書) 653号, p.28.
- 2013年 「陸奥宗光・東郷平八郎」; 『教育科学 社会科教育』(明治図書) 654号, p.68.
- 2013年 「東京が消える? 増加する空き家, 下がる中古マンション」; 『教育科学 社会科教育』(明治図書) 655号, p.8.
- 2018年 『『社会参画学習』論による社会科授業の開発(中間報告書)』; 平成28~30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的萌芽研究(課題番号16K13584)報告書.
- 2019年 『社会参画学習論に拠る社会科授業開発』; 平成28~30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的萌芽研究(課題番号16K13584)報告書.
- 2019年 「時事問題を身近に感じる宿題・課題テーマ」; 『教育科学 社会科教育』(明治図書) 723号, pp.28-29.